

2013年度第1回(通算第4回)理事会(通常)

1. 日時：2013年5月17日(金)16時

2. 場所：専修大学神田キャンパス1号館13階13A号教室

3. 出席者：(出席理事) 浅田正彦、岩澤雄司、兼原敦子、吉川元、小寺彰、坂元茂樹、佐野寛、道垣内正人、古谷修一、森川幸一、(代表理事) 薬師寺公夫、(出席監事) 吾郷真一、野村美明

4. 議事の内容

1) 報告事項

1 2012年度第2回評議員会(臨時)(電磁式)の審議結果について

標記評議員会が開催され、外務省国際法局長の交代に伴い、兼原信克評議員の辞任による石井正文評議員の承認の件につき、定款23条に従い、2013年3月26日に評議員会の決議があったものとみなされた旨、薬師寺代表理事より報告された。

2 外務省からの平和宮への日本の国際法図書推薦依頼について

標記の件につき、すでに故人となっている著名な研究者の代表的著作を推薦したが、最終判断は外務省でおこなうとの連絡があった旨、坂元事務局長から報告された。

3 名誉理事・名誉会員への会務報告について

国際法学会の一般財団法人への移行について、名誉理事および名誉会員に報告をおこなう、特にご意見は頂かなかった旨、薬師寺代表理事より報告された。

2) 審議事項

第1号議案 2013年度第1回(通算第3回)評議員会(定時)の招集に関する件

薬師寺代表理事より、評議員会の開催趣旨について説明があり、定款第19条2項及び第20条1項に基づき、下記の事項が議決された。

[議決事項] 2013年度第1回(通算第3回)評議員会(定時)を下記の通り開催する

開催日時：2013年6月16日(日)15時より

場 所：アルカディア市ヶ谷

議 案：1 2012年度事業報告及び決算報告の承認

2 理事の選任に関する規程(案)の承認

報告事項：1 2013年度事業計画の進捗状況について

2 その他

第2号議案 一般財団法人国際法学会2012年度事業報告(案)及び決算(案)に関する件

薬師寺代表理事より、2012年度事業報告(案)について説明がなされ、定款第4条の各号に併せて報告がなされた。次に、道垣内会計部長より、2012年度事業決算(案)について説明がなされ、監事2名からの監査を受けた旨の報告がなされた。特に2012年度においては、半年(10月1日～3月31日)の事業であることに留意してもらいたいとの補足がなされた。議論の上、事業報告と決算について、議決された。

第3号議案 2013年度補正予算案に関する件

道垣内会計部長より、第3号議案資料に基づき、2012年度後期の予算額と照らし合わせながら、補正後の予算額についての説明がなされた。本議案が議決された。

第4号議案 国際法学会年次研究大会（第117年次）開催に関する件

森川研究企画委員長から、国際法学会年次研究大会（第117年次）の企画について報告がなされた。次に古谷研究大会運営委員長より、研究大会の運営について、議案書に沿って説明がなされた。議論の上、年次研究大会（第117年次）企画が議決された。

第5号議案 国際法外交雑誌の編集に関する件

浅田雑誌編集委員長から、資料に基づき報告・提案がおこなわれた。『国際法外交雑誌』への投稿規程の改正につき、議決された。

第6号議案 一般財団法人国際法学会の2013年度国際交流事業に関する件

国際交流委員長の岩澤理事より、大韓国際法学会主催「済州島フォーラム」、中華民国国際法学会・ILA・ASILによる「アジア・太平洋リサーチ・フォーラム」及びバークレー会議の英文書籍に関する件の報告が行われ、議論の上議決された。

第7号議案 社会連携部の事業に関する件

（1）小田賞について

佐野理事から、規程、応募要領、選考内規および予備審査委員会内規が提示され、賞の内容や、選考委員会および予備審査委員会の役割など具体的な内容について、すでに理事会で承認された内容に沿って作成された旨の報告がなされた。

（2）エキスパート・コメント事業について

小寺理事から、小畑エキスパート・コメント委員長が作成した委員会の発足経緯及び活動状況報告に基づいて、委員会の検討結果を含めた現状報告がなされた。

（3）アウトリーチ委員会について

小寺理事から、中谷アウトリーチ委員長による市民講座等の計画の報告がなされた。

種々議論の上、小田滋賞規程、小田滋賞応募要領、小田滋賞選考内規および小田滋賞予備審査委員会内規ならびにエキスパート・コメント事業の活動計画が議決された。

第8号議案 研究振興部の事業に関する件

吉川理事より、研究振興委員会の事業についての報告がおこなわれ、国際法学会研究振興委員会が取り組むべき課題が議決された。

第9号議案 新入会員の承認に関する件

坂元理事より、以下の9名を一般会員として入会することが提案され、議決された。

古澤嘉朗 富田晃正 高木功介 二村まどか 保井健呉 佐藤教人 高崎理子 近藤航
鈴木孟

上記新入会員に加え、逝去会員3名、退会希望会員8名および滞納除籍者19名を踏まえた結果、会員総数は、946名となる。

第10号議案 その他

坂元事務局長より、高村会員委員長からの報告書に基づき、会員への電子メールによる

情報伝達について報告が行われた。議論の上、会員委員会に、①電子メールによる情報伝達のために会員の電子メールアドレスを確認し、利用の許諾を得るための手続を取る、②会員名簿を作成するために最新の情報を収集し、研究大会終了後に配布するための作業を開始する、ことを進める旨議決された。